

令和5年度第1回生駒市介護保険運営協議会
会議録

開催日時	令和5年5月23日（火） 午後2時00分～午後3時30分
開催場所	生駒市メディカルセンター 3階 研修室
出席者 （委員）	川井委員、高取委員、萩原委員、井上委員、森永委員、藤田委員、藤尾委員、日野委員、上村委員、竹田委員、奥本委員、中島委員
欠席者	林委員、辻村委員
事務局	田中特命監 福祉健康部：吉村部長、田中次長 福祉政策課：上野課長、上野主幹、黒松 地域包括ケア推進課：後藤課長、秋永主幹 介護保険課：吉本課長、殿水課長補佐、木下主幹 地域医療課：水澤課長、天野課長補佐
案件	（1） 副会長の指名 （2） 高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画の策定について ① 介護保険運営協議会への諮問 ② 計画の策定について （3） 地域密着型サービスについて （4） 地域包括支援センターについて （5） その他
資料	令和5年度 第1回生駒市介護保険運営協議会 会議次第 （資料1） 生駒市介護保険運営協議会委員名簿 （資料2） 生駒市介護保険条例（抜粋） （資料3） 生駒市介護保険運営協議会の開催予定 （資料4） 附属機関及び懇談会の会議の公開に関する基準 （資料5） 諮問書（高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画の策定） （資料6） 計画の策定について （資料7） 介護事業所（従事者）調査 調査票①～④ （資料8） 第9期介護保険事業計画の基本指針について（厚生労働省資料抜粋） （資料9） 地域密着型サービスについて （資料10） 地域包括支援センターについて

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>1. 開会</p> <p>2. 会議の公開・非公開について <u>(資料4)附属機関及び懇談会の会議の公開に関する基準について説明</u> 本日の会議公開について確認。 異議なし</p> <p>傍聴者 2名について報告。 傍聴者入室</p> <p>3. 辞令交付 福祉健康部長から辞令交付</p>
部長	<p>4. 部長挨拶</p>
事務局	<p>5. 委員・事務局紹介 <u>(資料1)生駒市介護保険運営協議会委員名簿の順に紹介</u> 事務局紹介 資料確認</p> <p>6. 協議会の概要説明 <u>(資料2)生駒市介護保険条例(抜粋)の説明</u></p> <p>7. 令和5年度の開催予定 <u>(資料3)生駒市介護保険運営協議会の開催予定の説明</u></p> <p>8. 会長選出 生駒市介護保険条例第21条で「会長は委員の互選により定める」と規定されておりますが、委員の皆様におかれまして、何かご意見はございませんでしょうか。</p>
委員	<p>よろしいですか。川井先生にお願いしてはどうかと思いますが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>ただ今、川井委員を会長に推薦する旨、ご意見がございました。川井委員に会長にご就任いただくことを決定させていただいて、よろしいでしょうか。</p>

一同	異議なし 川井委員に決定
会長	会長挨拶
事務局	<p>9. 案件</p> <p>(1) 副会長の指名</p> <p>先ほど、協議会の概要説明の際に申しましたが、副会長は委員のうちから会長が指名するとされておりますので、会長から副会長となる委員をご指名いただけましたらと思います。</p>
会長	<p>では、これまでのご経験もごございます高取委員に副会長の職務をお願いしたいと思います。 高取委員に決定</p>
事務局	<p>(2) 高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画の策定について</p> <p>①介護保険運営協議会への諮問</p> <p>②計画の策定について</p> <p><u>(資料5)諮問書(高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画の策定)、(資料6)計画の策定について、説明</u></p> <p><u>(資料7)介護事業所(従事者)調査 調査票①～④について説明</u></p>
委員	<p>アンケートですが、こういうのはいつも答えにくいと思うのですが、7-①の分は、私どもは施設が総合施設になっていますけれども、居宅以外をまとめて答えたらいいということですね。</p>
事務局	<p>サービス事業ごとにお渡しさせていただきたいと思っています。</p>
委員	<p>その割には、7-①の間6はすべての事業所が書いてあって、複数回答可になっていますけど。</p>
事務局	<p>これは「必要と思われるサービスがあれば」それを○していただく。</p>
委員	<p>そうすると、その後の職員の人数等というのは、我々、複合施設になっていると、総まとめで書くということですか。</p>

事務局	サービス事業ごとです。
委員	サービス事業ごとだと、問6は複数回答可にしたら、駄目じゃないですか。
事務局	これは今後、充実したいか、必要と思われるサービスです。
委員	その一つの事業所でおこなっているものということですね。
事務局	はい、そうです。
会長	ちょっと分かりにくいですね。もう少し工夫をお願いします。
委員	その辺のことを分かりやすく書いていただいたほうが、返って来た時に同じ条件で返ってこない、アンケートの意味がないので、そこがいつもどっちなんだろうと思って引っ掛かったりするのです。
委員	ここで言う、計画作成担当者はもう施設ケアマネだけですね。
事務局	はい。
委員	<p>介護をしている介護者にとっては、とても興味のあるアンケートだと思うのです。その中で今、国の指針がどういうふうに動くのか分かりませんが、在宅介護に動いていく中で、小規模の介護施設の方はすごく家庭的で、すごく受け入れ体制がいいという話をよく耳にしますので、資料7-①の「問2 貴事業所の、今後の事業展開についてお答えください」、これで個人事業所の動向が回答として出てくると期待しているのですが、例えば、「4 事業の廃止を考えている」という答えの場合、どうしてそういう考えに至ったか、そこを導き出していただくことが、もしかしたら問5の課題となっていることに結び付くかと思うのですが、その辺もちょっと把握していただけたら有難いと思います。</p> <p>それと、認知症について、まだまだやはり皆さんの意向を聞いておりますと、元気な高齢の方は他人の方がほとんどでいらっしゃいます。やはり自分事と捉えて、認知症がどれだけ大変で、老老介護がどれだけ大変か、ヤングケアラーがどれだけ大変な思いをしているかということをもっと発信していただけるような情報をキャッチしていただけたら有難いなと思いました。</p>

	<p>まだまだいろいろな興味があるところが多々あるのですけれど、このアンケートによっていろいろなところが見えてきたら嬉しい。それにのっとなって行政としていろいろな施策、重層的支援体制もやっていかれるということで、今後、介護に対しては厳しい状況になっていくことを感じておりますし、このアンケートにとっても期待しておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p>
会長	<p>ただ今、資料7-①の間2について、「3 事業の縮小を考えている」「4 事業の廃止を考えている」というところの理由がもし分かればというお話が一点あったかと思ひます。</p>
委員	<p>それは問5の「貴事業所を運営するうえで課題となっていることについてお答えください」に導かれるとは思ひのですけれども、もう少し具体的などころが何かあればなと思ひましたので。</p>
会長	<p>そのほかにも認知症のご意見とかございましたけれど、今回、期間も限られるのと、確実にアンケートが返って来る、やはり多くの人に答えていただかないといけないことを重要視すると、出来るだけアンケートの項目はシンプルなほうがいいと思ひますね。ですから、また場を変えてとか、もし今回のアンケートで聞き切れないものもあるかも分かりません。ですから、その時はまた別の方法でご意見をいただけたらと思ひます。</p> <p>先ほど、委員からございましたところの表現については、是非、工夫していただいて間違いがないようにしていただければと思ひます。</p> <p>ほかにはいかがですか。</p>
委員	<p>この従事者関係というのは基本的に全職員に対するということによろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>その通りです。</p>
会長	<p>アンケートの中身とは違ひけれど、この通りでアンケートが行くわけですね。問ひの網掛けの色をもう少し薄くしていただいたほうが読みやすいんじゃないかと思ひます。</p>
事務局	<p>はい、分かりました。</p>

会長	では、ほかにご意見もないようですので、アンケート調査につきましては、協議会として承認するというので、よろしいでしょうか。
一同	異議なし
	(3)地域密着型サービスについて
事務局	<u>(資料9)地域密着型サービスについて、説明</u>
会長	では、ただ今、事務局からご説明がございました地域密着型サービスにつきまして、ご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。
委員	細かいことですが、地域密着型サービス事業所一覧の中で、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の「いこいの家さぼーと」と「あすならホーム」の指定月日は、合致しているのでしょうか。「いこいの家」が令和3年7月1日になっていまして、「あすならホーム」が令和4年1月1日になっていいますが、生駒市内で一番最初に出来たのは「あすならホーム」と記憶しているのですが、この年代でいけばどうなのでしょう。地域密着型サービス事業所一覧の中で、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の指定月日は、合致しているのでしょうか。
事務局	こちらは指定と6年に1回の更新があるのですが、6年に1回の更新をした事業所につきましては、こちらに更新時期を書いております。
委員	第8期計画における整備についてで、グループホームが現在、令和5年度末整備数が8施設となっておりますけれど、この一覧表を見ましたら7施設になっています。8施設はどこでしたか。
事務局	こちらは昨年の秋にグループホーム募集のプロポーザル委員会を開かせていただきました。医療法人あすか会が選定されまして、今、生駒市の上町というところでグループホームを1カ所されているのですが、同じ敷地内でもう一カ所、整備される予定でして、それが完成したら8カ所になります。今、工事の準備を進めていまして、来年2月の運営協議会でまた審議していただくこととなりますので、よろしく申し上げます。
委員	もう一点、資料8の厚生労働省の基本指針について一部抜粋という資料の、見直しのポイント(案)の中で、「1.介護サービス基盤の計画的な整備」の

事務局	<p>2番目の「在宅サービスの充実」というところで、「居宅要介護者の在宅生活を支えるための定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能」と書いているのですが、第9期で整備の計画は、むやみに施設を造ることは難しいのですけども、その辺の計画がおありかどうか、お聞きしたいと思います。と言いますのも、施設介護で介護をなさっている方と在宅介護でなさっている介護者の負担が随分と格差があるのです。それはお金を出して施設に入れる方はそれでいいのですけども、やはり、いろいろな環境の下で在宅しかできない方もいらっしゃる中で、介護者の負担の格差が非常に大きい。この厚生労働省の指針の中で在宅介護を対象として施設を充実するようという案が出ておりますので、生駒市としてはその辺をいかがお考えかと、お聞きしたい。</p> <p>今、委員がおっしゃいましたようにこの国の指針がまだ案の段階でございます。それで、私どもの計画の中で、今のアンケート調査も含めまして、この辺の施設整備についてどう進めていくべきであるか、むやみやたらに建てるのがいいのではなくて、例えば、一つの事業所が何カ所かつくられて、その改修に力を入れる、数を増やすのではなく質の充実という面も考えていかないといけない。</p> <p>今は案になっていきますので、この8月くらいに正式なものが出てくるかと思えます。そういうものもにらみながら、アンケート調査の項目も考えながら、今後、計画の策定を進めてまいりたいと考えております。</p>
会長	<p>これから考えていく方向性ですから、ご質問いただいてありがとうございました。</p>
事務局	<p>(4)地域包括支援センターについて</p> <p><u>(資料10)地域包括支援センターについて、説明</u></p>
委員	<p>包括支援センターは、基本的にエリアは決められている。指定になっていて、ここのセンターしか利用できないというシステム。それは皆さんご存じです。例えば、ここに地図があります。ここの地図のエリアはここのセンターしか利用できないということです。私もここ10年くらい関わっておりますけれど、すごくセンターの内容のバランスが、利用者側から見れば、どこの施設も同じようなレベルと言っては失礼になりますが、内容等はなるべく見える化していただきたいし、例えば、北のほうだと地図的には場所は書いていますけど、窓口に行った人はどれくらいいらっしゃるのかなというくらい</p>

	<p>見えない。だから、この7カ所ありますけれども、もう本当に窓口がガラス張りになって、見えて、本当に行きやすい施設とどこか分からないところが、ちょっとあるように感じますので、できれば視察とか、何かそういうことを考えておられるのかということが一点。</p> <p>で、今、県のほうの会議に行かせていただいていますと、すごく生駒のことを褒めていただいています、「生駒モデルとてもいいじゃないか、介護保険制度を頑張ってますね」と。すごく誇らしく思っておりますので、是非、地域の住民が本当に生駒の介護保険はいいから安心できるというようなところ、まずは地元だと思いますので、いろいろな段階はあるでしょうけど、やはり介護予防が一番大事なかなと思っておりますので、元気なうちからやはりこういうのを皆さんがもっと知ることじゃないでしょうか。やはり、もう少し一般の方に利用できる、10年前に施策を進めていたころのほうが元気いっぱいだったような気がしておりますので、是非、もう少し充実したものを見せていただきたいというのが現状でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>今、お話を聞いていますと、一点は相談の窓口が分かりにくいというお話があったかと思えます。「地域包括支援センターについて、他の市町村の調査を見ても地域包括支援センターを知っていますか」と言う質問について、知っているという回答は、3割程度の所もあります。こうしたところでも、この間ずっと広報活動は行われてきたと思いますが、困りごとがあって相談をしたとか、何か利用経験があればつながりやすいのでしょうか。さらに今まで利用するような年代ではない方々が、65歳以上になっていざ利用しようと思った時にはわからないと言うことにならないよう、常に分かりやすく情報発信をしていくことが一つには必要と言うことでしょうか。</p> <p>私も生駒はとてもいいと思っていますから、今回、こうして役をいただいて、本当にここでさせていただいていることを嬉しく思っていますので、本当に自信を持ってやっていただきたいのです。でも地元の人がそう思っていただけではない部分もあるということがよく分かりましたから。</p>
<p>事務局</p>	<p>以前も委員から地域包括支援センターをみんな知らないよというのを伺って、私も自治会とか、民生の会であるとか、老人クラブの会議に行かせてもらうことがありまして、そこで実際に本当かなということで、老人クラブだったと思いますが、実際、包括支援センターを知っていますかと手を挙げてもらったら、2、30人のうち4、5人しか居なかったという現実を目の当たりにしました。</p> <p>ご意見をいただいたことを踏まえて、実際、担当課としても地域包括支援センターを知ってもらうために何ができるのかということで、今、ちょっと</p>

	<p>いろいろ頑張って広報活動なり、周知をしているところです。実際に、先ほど話のありました委員のお住まいの地域というのは、確かに今ご意見を聞かせていただいて浮かべてみますと、確かに分かりにくい場所にあるというのは現実で、確かに市内で一番広い範囲を管轄している包括でちょっと奥まったところにございますので、なかなか簡単に行きづらいという場所にある。今は車とかあって、場所さえ分かれば行っていただけるということで、行きにくい部分があるというのは認識しておりますので、また来月、法人の代表者が集まる会議もございます。法人とお話する機会がございますので、その辺を国道沿いに何か分かるものを立てるなり、そういうご協力をいただけないかという話はしていきたいと思ひます。ご意見、ありがとうございます。</p> <p>委員 今、委員が当初の方がとおっしゃっていたのは、要はその時のほうが顔が見えたということなのかと。もちろん包括が始まった時は、「包括って何？」ということだから、どこの包括も一生懸命、出前講座じゃないけどあっちこっち出向いて行ったのだらうと思ひます。やはり、やっている側も人が変わるし、受ける側も人が変わっていくし、別にあぐらをかきわけじゃないけど、一定程度になったら忙しきにかまけてということがあるといふのが、今のご意見なのだらうと思ひます。</p> <p>包括だからといって、こうしてくれるわけじゃなくって、何かしてくれるのは人の話なので、人の顔が見えないと安心できないということなんでしょう。信用するといふのは別に包括だから信用するのじゃなくて、この人を知っているからといふことなので、確かにエリアが広ければ、「どこにある？」といふのがあつるけれど、それよりも別にそこまで相談に来なくても、人の顔が分かつていれば、そこに連絡が出来て、話が出来たらいいとか、だから、もっと出向いて行かなあかんと。ちょっとそういうことが足りてないといふご意見と思ひて聞いておりました。何か、モチベーションが上がるようなことを続けられるようにしないといけないことだらうと思ひます。</p> <p>委員 出来れば、道路沿いにふらつと寄れるような、気楽に行けるようなセンターであつてほしいと思ひます。</p> <p>会長 ご意見をいただき、現状がよく分かりました。</p> <p>委員 いつも委員からは、包括支援センターが皆さんに周知されていないといふ意見がよく出るのでつるけど、それに対して、私、市の肩を持つわけではないのでつるけど、市はいろいろなところで介護保険関係では地域包括支援センタ</p>
--	--

	<p>一の一覧表を配っておられます。ケアリンピックをやられた時でも地域包括支援センターはこぞって参加しておられますが、介護者家族の会は一度も名前は出たことはないのですけども、それほどに一生懸命力を入れておられるにもかかわらず知られてないというのは、介護保険について住民が自分事と捉えていないという方が多いのではないかなと思っているのです。だから、もっともっと自分に介護が差し迫った時に、どうなっていくかという時に、まず、市役所に相談すれば何でも分かるということをもっと市としてアピールしていただけたら、住民も受け入れやすいのかと思いますので、その辺のアピールをすごくやっておられるのは、私は介護者家族の会として、横から斜め見をして、すごいと思って見させていただいております。ですから、住民のほうにも、もっともっと自分事と捉える意識も必要かと。前もそういうふうに対応させていただきました。</p>
委員	<p>生駒モデルが立派なのでというのは言っていますでしょ。県からは本当に称賛されています。</p>
委員	<p>包括の方ももっともっと住民の中に出て行かれたらいいと思いますね。老人クラブも民生委員も、もっともっと包括のことを宣伝して、皆、いろいろところで連携して、包括のことを宣伝していけばいいのかなと思っています。介護者家族の会でもことあるごとに地域包括支援センターのチラシを配っています。</p>
委員	<p>今、おっしゃっていたように、包括の仕事内容自体もちょっと違う気がするのですよね、私の受け取り方として。それと今、行く気がないのかなとおっしゃったのは、そうじゃないと思うのですよ。包括というのは、民生からすれば、案件をいただいて、つないでいく場所でもあるので、その場合においてはすごく対応していただいていますので。興味がない時点で、包括が何をしているのか知らないというのは仕方がないと思う。だから、自分から、何かがあって、何かに興味を持って、その興味を持った時に調べて、内容自体を把握していただくことがまず必要だと思います。物事はまずその人が何に対して興味持つか、関心を持った時点でどう動いていくかということが一番大切だと思うので、知られていないのは仕方がないけれど、何かあった時に包括という体制としてあるということは、現実的に民生としてもつないでいけるし、今、おっしゃっていたように、自治会に対しても出て来てもらって、こういう活動をしていますと説明してもらっていても、次回会ったら、興味がない人は、結局自分が必要な時しか動けないということだと思う。</p>

<p>会長</p>	<p>本当にいろいろなご意見をいただきましたけれど、やはり顔が見える関係 というか、顔なじみというのが大事なんだろうと分かりました。また、引き 続いてこういう議題をもとに、これからの計画が策定されていくといいと思 います。</p>
<p>事務局</p>	<p>(5)その他 <u>案件(5)その他 次回開催について説明</u></p>
<p>会長</p>	<p>時間のほうも迫ってまいりましたが、今日のこの場でお声をお聞かせいた だけのチャンスがなかった皆さんに、ひと言お話いただけたらと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>私、これを初めてやらせていただいて、私は健康なもので、親も亡くなっ ていて、あまり介護のことをよく分からなかったの、ああそういうことな んだ。包括センターが何をしているか、あんまりよく分からなかったの で。だから、すごく新鮮に感じました。また、勉強させていただきます。</p>
<p>委員</p>	<p>印象が強いのは最後の包括支援センターの件ですよね。確かに、いろい ろな取り組みで、いろいろなイベントをして、どんどん来てというのをするの はいいのだろうけど、実際の人員を考えると、非常にかわいそうな大変な役 割だと考えています。僕らから見たら、窓口で、本人さんは全くそういう気 はなかったりするのだけど、何かちょっと困ったことがあったら、すぐに包 括やねと言って、それは生駒市でも奈良市でも連絡先を教えて、連絡をとっ て、場合によってはこっちからとって、そうするとすぐに動いてくれます ね。訪問してくれるし。確かに大きいので分かりにくいところありますが、 すごい機動力のある組織だと思っています。</p> <p>ただ、どうなのかな、適正な数とか、規模というのか、突き詰めるともっ と要するという話になってくる。今もう7カ所になっているけど。小回りが利 くようにとなるともっと細分化しないといけない。細分化してしまうと、今 度はさっき言ったような平準化というか、同じサービスを受けられない。そ れもまた次回の時に出てくるでしょうけど、意外と生駒市と言えども地区ご とに何かありますよね。虐待が多いところであったりとか、何かそれぞれ性 質を持っているので、そういう意味では今、非常にうまくやってくれている ので、それをアピールするのは包括の方々もそうだけど、今日出席されてい る皆さんとか僕たちがどんどんアピールしていく役目をこちらが担ってあげ るという、うまくタイアップできれば、こちらの責任もあるかなと思って聞 いていました。</p>

委員	<p>最後の包括支援センターのことをお聞きして、私、母が介護状態になったのを引き取って面倒をみていたのです。10年ちょっと前になると思う。その時にこんな近くのところ、そういう相談をできるところがあったら、もう少し色々相談できたのかなと今、思いました。</p> <p>何かそういうところが出来ているなど、包括支援センターの前を通るので見ているのですが、やっている内容をもう一つ知らなかったのも、またこれから勉強させていただきたいと感じました。ありがとうございます。</p>
委員	<p>私は高齢者の自立支援事業を長年させていただいておまして、包括と地域の住民、また民生の方と一緒に、高齢者の自立支援をさせていただいているのですが、包括の皆さんがいて、私たちが活動できていると実感しています。ですから、そのアピールの活動的な職員の方、またちょっとおとなし目の方、いろいろいらっしゃいますけど、頑張ろうという気持ちは皆、一緒と思うのです。それを私たち住民レベルが関わって行って、その活動の内容を私たちの住む地域の中で伝えていく役目みたいなものもやはり果たしていかないと、これが広がっていかないとという現実、やはり私たちボランティア団体も責任を感じているところがありますので、これからはもっと包括の良さ、大事さというのを私たちも頑張っていくかなとね。行政だけの責任じゃなくて、やはり地域住民が地域住民に口伝えしていくことのほうが広がりやすいかと。皆で頑張りたいと思っています。</p>
委員	<p>そこが基本だと思いますね。</p>
委員	<p>私は老人クラブの担当ですけれども、この事業所に合わせて会員クラブが45あり、本来の校区は別ですけれども、それに合わせたエリアで取り組みもやっております。それもコロナなんかがあったりして、いろいろあるのですが、もう少し、お互いに頑張りましょうか。</p>
委員	<p>やはり私も地域包括支援センターのことですけれども、差し迫らないと浮かばないというところでは、やはり健康的な方が多いのかとは思いました。日本で寿命が長い市町村は、やはり男女とも同じ市町村らしいのですが、その原因が坂が多いらしくて、生駒も坂がとても多いのでそれに関係しているのかと感じていました。</p> <p>個人レベルで出来ることとしては、口コミ、何かあったらここよというようにすぐに言っているのですが、事業所レベルとしてはコロナウイルスが5類になったので、認知症サポーター養成講座では包括支援センターの紹介や説明を詳しくさせてもらっていますので、そういう取り組みがまたしていけ</p>

<p>副会長</p>	<p>るのではないかと思っています。</p> <p>特に、包括に関しては皆さん、おっしゃる通りで、10年以上前から認知度が、認知度がと。私自身は、ネーミングセンスが悪いのだろうなど。地域包括支援センターと聞いて、分かる住民がどれだけいるか、若者はさっぱり分からない。まあ、それは置いておいたとしても、すごく頑張っておられるのもあって。あとは私の専門性から言うと、やっぱりリハ職がどんどん地域に出て行って、地域リハ、それこそ通いの場をサポートしろと国が言っている割に、人員配置の中に未だにリハ職が入っていない、制度化されていないのはすごく残念だなと。しょうがないですけど、いろいろなお金の問題があるので。でも、他市町村では、割と試験的に地域包括の中に理学療法士を置いたりしているところもありますので、で、機動的にすごく動いていて、通いの場のサポートとかをしているところも知っていますので、生駒はすごく注目されているので、そういうチャレンジをしてもいいのかなあとは思いますが。</p> <p>あと、この資料8は、説明はあるのですかね。何かこれの説明がありましたか。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料8につきましては、これは基本指針が先ほど言いましたように8月に出るその前の資料です。国としてはこういうことを考えていますよという、事前の案という形ですので、大きくは変わらないとは思いますが、この辺の基本指針を参考にさせていただきたいということで付けさせていただいております。</p>
<p>会長</p>	<p>今日、初めてこの生駒市の介護保険運営協議会に参加させていただきました、よく分かりました。女性の方が多いので意見もたくさん出ますし、とても盛り上がりがあって、これはただ意見を出して終わりというのでいけませんから、いただいたご意見をこれからの計画に生かしていきたいと思えます。</p> <p>(終了)</p>